■ 中学生向けゼミ・若手研究者特別ゼミ

※中学生向けゼミとは、京都大学の教員が提供するゼミです。若手研究者特別ゼミとは、京都大学の大学院生等が中心となって提供するゼミです。中学生向けゼミ・若手研究者特別ゼミのどちらも中学生・保護者等を対象としています。

ゼミ A 平成 25 年 9 月 14 日(土) 14:30 ~ 16:00

場所/記号		テーマ・講師	ゼミの内容等	ゼミ形式	備考
吉田	A1	大学生と語るジェンダー (「男らしさ」や「女らしさ」などの社会的性別) 伊藤 公雄 (文学研究科教授)	ポケットゼミ参加の京大生とジェンダー(「男らしさ」「女らしさ」とは何か、どんな問題があるかなど)をめぐって議論を行う。	グループ 討論	保護者 参加不可
吉田	A2	医療技術を育てる 富田 直秀 (工学研究科教授)	モノとイキモノは何が違うのでしょうか?どんな技術が人の役に立つのでしょうか?日本の医療技術開発って進んでいるの?それとも遅れているの?医療技術の質ってなに?専門家でもなかなか答えにくい問題を、実例をあげて一緒に考えていく授業です。中学生はもちろん、お父さん、お母さん方も積極的にご参加下さい。	講義・ その場で できる 簡単な ゲーム	保護者 参加型
吉田	A3	衛生工学 いのち まも —生命を衛る水とトイレの話— 清水 芳久 (工学研究科教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・あなたは食物と飲物をどこから身体に入れますか? ・それらはどこから排泄しますか? ・なぜ入口は1つで出口は2つなの? ・地球上で安全な水が手に入らない人、衛生なトイレがない人はどれくらい? ・途上国等にトイレを普及させるためには? ・あなたは震災時にトイレはどうしますか? 人が生きるために必要な水について、そして生命を衛る新しいトイレについて話しましょう。	説明の後に 簡易トイレ を自分たち で組み立 てる	保護者 参観型
吉田	A4	言語学： 英語から見たことばの不思議 谷口 一美 (人間・環境学研究科准教授)	「どうして英語ではこう言うんだろう?」「どうしてこの単語はこんな意味になるんだろう?」英語を勉強していて感じることはありませんか。中学校で学習する文法や単語を題材に、「どうして」という疑問を掘り下げて考え、ことばの不思議さ・おもしろさに迫ります。	講義・演習	保護者 参加型
吉田	A5	情報の海を探す・調べる —情報の検索と分析の技術— 田中 克己 (情報学研究科教授)	誰もが日常的に使っている検索エンジンは、どのような方法で情報を集め、表示する検索結果を選んでいるのでしょうか。その仕組みを解説し、さらに、検索エンジンからの情報を機械的に集約し、分析することで新しい知識を獲得する仕組みについて紹介します。実際にインターネットを用いた実習をパソコンやiPadなどを用いて行います。	講義・演習	保護者 参加型

場所/記号		テーマ・講師	ゼミの内容等	ゼミ形式	備考
吉田	A6	<p>ブータンと日本の協力で 過疎と離農の問題にとりくむ —文明からのアプローチ—</p> <p style="text-align: right;">安藤 和雄 (東南アジア研究所准教授)</p>	<p>過疎と離農は日本に特有の問題ではありません。国民の幸福度が高いブータンといえども同様です。この問題は原発の問題と同等もしくはそれ以上に「深刻」な文明的な問題を私たちに投げかけています。この問題の克服を目指している実践型地域研究の試みをお話しし、参加者とともに、現代文明にどう対峙していったらよいのか、を考えます。</p>	対話方式の参加型ゼミ	保護者参加型
吉田	A7	<p>生き物同士を繋げる植物のかおり</p> <p style="text-align: right;">高林 純示 (生態学研究センター教授)</p> <p style="text-align: right;">塩尻かおり (白眉センター(生態学研究センター) 特定助教)</p>	<p>植物のかおりは私たちを楽しませるだけでなく、植物をとりまくさまざまな生き物によって利用され、それらが共存するために重要な役割を果たしていることがわかってきました。この講義では、葉のかおりに注目して、それが紡ぎだす生き物の不思議な関係について、実験、ゲームと講義を行います。</p>	講義・実験・実習	保護者参加型
宇治	A8	<p>根の周りの微生物の世界を のぞいてみよう</p> <p style="text-align: right;">杉山 暁史 (生存圏研究所助教)</p>	<p>植物の根の周りには何億もの微生物が棲んでいます。これらの微生物は植物の生育を助けてくれたり、枯らしてしまったりと、密接な関係をもっています。このゼミでは特にダイズの根に根粒を形成する根粒菌に着目して、講義と観察を行います。</p>	講義	保護者参観型
他	A9	<p>太陽の素顔をさぐる —花山天文台における太陽観測実習</p> <p style="text-align: right;">柴田 一成 (理学研究科教授)</p>	<p>最近の観測が明らかにした太陽の驚くべき素顔を最新の映像などを用いて紹介・講演し、のち、花山天文台のシーロスタット70cm 望遠鏡を用いた太陽スペクトル観測、18cm 屈折望遠鏡を用いた黒点スケッチ、Hα 観測実習などを行うことにより、太陽の素顔にせまる。</p>	講演・観測実習	保護者参加型